

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして

みんなが

住んでよかった

と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL740-1111 (内線4020)

直通FAX759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodamich.exblog.jp



視察で学んだこと 柏市立病院・足利赤十字病院

市立病院整備調査特別委員会～とっても当たり前のこと

市立病院整備調査特別委員会は2月7、8日、「柏市立柏病院の指定管理者制度の運営について」と「足利赤十字病院の一般病床全室個室化の現状について」をテーマに行政視察に行ってきました。

今号(198号)では、視察で学んだことを報告し、私(黒田)がこれまでに調査し感じている点や進め方の違いなどをお伝えします。



市立柏病院

1976年築、16診療科200床(急性期149・地域包括51)指定管理者制度導入は、2006年(H18)年4月。導入以前から公設民営で医師会などに管理委託をしていた経過から現在、公益財団法人柏市医療公社に管理運営委託中。

市に利益配分も

柏市から指定管理者には救急医療などの総務省基準の政策医療などに対して上限を2億円として交付しています。

逆に、指定管理者から市には、①病院建物減価償却費相当分、②企業債利息相当分、③経常利益10%相当分を支払います。

医療機器、管理者調達

市・病院事業会計も指定管

理者も、黒字分は現金積立に。また、「指定管理者の入札の方が、業者より有利な条件や価格を提示されるケースが多い(柏市資料より抜粋)」ことから、医療機器は自前で整備。市から補助金も出していません。

周産期・婦人科はありませんが、今年度当初、医師42名・スタッフ155名。院内直営給食。入院稼働率77.1%(H29)。新年度小児科医師2名増員予定。

空白をつくるな！運動

柏市日本共産党議員団において、今年度当初、医師42名・スタッフ155名。院内直営給食。入院稼働率77.1%(H29)。新年度小児科医師2名増員予定。

救急病院の空白地をつくるな」と反対運動が起こり、翌年計画の凍結を発表。その後、2016(H28)年3月に建替え候補地を白紙撤回させたそうです。

一方、病院の老朽化を含め建

替えは必要のため、地域にバランスよく配置されることや災害時の医薬品確保は公立病院の役割と運動を進めているとのこと。いろいろ勇気と元気を頂戴しました。

川西市の場合

住民無視の猛進

翻って川西市は、あまりにも住民の声や願いを無視した拙速な進め方です。

協和会(協立病院)と水面下で協議した指定管理者・公募条件でさっさと契約。事前協議の資料や会議録など情報公開請求しても出てきません。

至れりつくせり

土地購入・施設建設・医療機器、OA機器購入は全て市の借金でスタート。現病院から直線距離で6km離れようが北部地域は診療所のみ、二次救急の空白地になります。

国からの政策医療への交付金は満額、病院経営の黒字分も全て協和会のものになるという甘さ。この違いは何でしょうか。

その上、社会医療法人化すれば本来業務は非課税。キセラまで市の負担でシャトルバスを走らせ、駐車場確保に別途市民の税金を注ぎ込む在り方。財政が

厳しいといいながら、キセラ一極集中の巨額投入では、街は成

まだまだこれからが大切。二次救急の空白地をつくるな！声をあげ行動しましょう。(裏へ)

北部の病院存続を求める市民の方の署名が2019人分になりました。

空白をつくるな2万筆

ひたすら市民が諦めるのを待つやり方が許せません。

消費税10%増税やめて!

山田洋次映画監督、有田芳子主婦連合会会長、全国FC加盟店協会庄司正俊会長、作家の室井佑月さん、ジャーナリストの斎藤貴男さん、同志社大学浜矩子大学院教授ら10人が呼びかけられた「2019年10月からの消費税10%中止を求める請願」署名(10月消費税10%ストップ!ネットワーク)。自民党の内閣官房参与だった藤井聡京大大学院教授も「この景気で上げるべきではない」と明言。

消費税がはじまって30年。国民が払った金額372兆円。法人3税減税分290兆円と所得減のための住民税減270兆円の穴埋めに...財政再建にも社会保障の拡充にもなっていません。

軽減税率にポイント還元、プレミアムチケット...訳のわからないお金のばらまき...それほど国民に還元したいなら増税そのものを止めるべきです!!



病院の署名が...

20191人分

ありがとうございました☆

3月議会に届けられます